

満たさない企業に低金利で融資していたことが判明。はあいまいにしたままで、

一課長と係長のコミュニケーション不足が大きかった。

人員増に言及した。西川氏は明言を避けるが、現場に

えない。データ不正が発覚した神戸製鋼所も経営陣は把握して

まくしたてた。2週間て居い切った対策を取ると懸命にアピール。しかし自身の

カ大きかった。一方、経

東証 2万1400円台

19日の東京株式市場は、円安と前日の米株高を背景に企業業績の改善を期待する買いが優勢となり、日経平均株価(225種)は13営業日続伸した。13営業日

高値をつけた。東京証券取引所第一部全体の値動きを示す東証株価指数(TOPIX)も5.40

を超え、過去最大記録を塗り替えた。出来高は約15億2000万株。

外国為替市場の円相場が一時1ドル113円台に下落したことから、国内の輸出企業を中心に業績改善を期待する買いが優勢となっ

た。市場規模を示す東証第一部の時価総額は637兆円

不正が常態すれば、日産

太陽光発電所 買い取り

木下組子会社 新設からシフト



木下エネルギーパークが取得した和歌山県御坊市の太陽光発電所

建設・土木業の木下組(広島市佐伯区)の子会社、木下エネルギーパーク(同)は、太陽光発電所の買い取りに乗り出した。第一弾として9月に和歌山県内の設備を取得。固定価格買い取り制度(FIT)に基づく太陽光の売電価格が下落していることから、自前で設けて売電する従来手法からシフトする。(境信重)

取得したのは、和歌山県御坊市にある出力624結の発電所。発電事業者のエリアエナジー(東京)から買い取った。金額は非公表。太陽光の売電価格が大幅に下がる前に国の認定を受けた設備で、売電単価は1結

中国経済

ぎ、広島県で11万所に広げ

た方が収益性が高いと判断した。

役が、中心部と郊外を結ぶ路線バスの利用が進むよう

一方、経

しかし太陽光発電の急増で、再エネを受け入れる大手電力の空き容量が減少。場所によっては、発電所を送配電網につなぐために多額の費用がかかる。また太陽光の1結当たりの売電価格は、FITが始まった頃の40円から21円とほぼ半減。既存の発電所を取得し

和歌山県の設備は県外で初めて。北海道や青森県で小型の風力発電所の取得も目指している。木下エネルギーパークの社長を兼務する木下組の田中敏彦社長は「今後面白い案件があれば買い取り、全国に再エネの発電所を展開したい」と話している。

「路線の再編を検討している」と報告。広島市の藤田昭彦都市交通部長は、郊外の路線バス便が少ない一方、中心部の運行が過密である現状を指摘した。広島消費者協会の原公子理事は「路面電車のバリアフリー対応、案内表示の明確化を進めてほしい」と求めた。

全国銀行協

公共交通の在り方探る

広島でシンポ 消費者と事業者議論

広島市内の公共交通の在り方について消費者と事業者が意見を交わす「消費者生活問題広島コンファレンス」が19日、中区の広島商

工会議所であった。広島消費者協会(中区)の主催。約130人が参加した。

シンポジウムでは、広島電鉄(同)の平町隆典取締役が、中心部と郊外を結ぶ

一方、経

カードローン

は19日、加盟の銀行カードローン公表した。全や地方銀行、が集計の対象のカードローは前月末と比増の4兆37